

事業名

デジタル媒体を活用した 「特殊詐欺」に関する講演会

事業概要

- 地区連合会と地区連合会を構成する5自治会の各会館に映像・音響配信のためのデジタル機器を設置。ミーティングアプリで結んで講演会「特殊詐欺の最新手口と対策」を実施。
- 地区連合会の事務局である久が原特別出張所から講演を配信し、各自治会が設営する会場または個人端末から聴講。

実施期間 令和4年4月19日～7月19日
参加人数 52名(会場視聴46名、個人端末での視聴6名)
事業総額 約93万7,700円
(地域の底力発展事業助成金 93万7,000円)

役割分担

《地区連合会事務局(2名)》
各自治会の機器・接続環境の設定、講師の依頼、当日の配信
《各自治会(各3名程度)》
それぞれ団体内での参加者募集活動、参加者の取りまとめなど

主な経費(助成対象)

- 物品購入費
ノートパソコン、プロジェクター、スクリーン、コンパクトスピーカー、会議用ウェブカメラ、ウイルスソフト、マウス、コピー用紙、感染対策消耗品
- レンタル・リース料
ポケットWi-Fiレンタル料

実施までの主な流れ

令和4年
4月19日 自治会長打ち合わせ。事業内容を確認
5月10日 参加申し込みチラシの配布、ポスターの掲出
5月11日 講師打ち合わせ。講演内容を確認
5月17日 自治会長打ち合わせ。購入物品の報告、自治会からの参加者取りまとめ依頼
6月14日 各自治会館従事者向け機器操作説明会
6月15日 自治会長と講師と打ち合わせ。当日の流れ、講演内容の意見交換
6月21日 自治会長打ち合わせ(当日の流れを再確認)
6月22～ 配信会場(出張所)と各自治会館との事前接続
23日 テストを実施
6月28日 事業実施
7月15日 反省会

大田区久が原地区自治会連合会は、①久が原東②久が原西③久が原南④道々橋⑤ヒルズ久が原の5自治会で構成され、約9千世帯が自治会に加入している。

各自治会館に導入した機器の設置状況



事業の実施内容

● 講演「特殊詐欺の最新手口と対策」

実施場所 久が原特別出張所集会室、各自治会館
開催日 令和4年6月28日（午後3時～4時）

池上警察署生活安全課から特殊詐欺対策の担当者を講師に招き、大田区久が原特別出張所の集会室からオンライン配信による講演会を実施した。

配信に必要な機器は、事務局が取りまとめて選定し購入。講演会の2週間前には各自治会の担当者向けに機器の操作説明会を実施し、ミーティングアプリの使い方などをレクチャーした。

当日は、午前10時から機器などを準備。午後2時30分から受け付けを開始した。講演では、講師が特殊詐欺の最新手口と傾向について説明し、実際に犯人が掛けてきた電話の実際の音声を流すなど、大田区久が原地区で発生した特殊詐欺の実例を紹介した。

講師の発表に続いて、質疑応答を実施。オンラインで講師とのやり取りを行った。

参加者からは「近くの自治会館で気軽に参加できてよかった」などの声があった。



自治会の配信会場(上)と出張所集会室で講演する特殊詐欺対策の担当者

事業による成果・効果

デジタル環境の基盤が整い、自治会活動の活性化に弾み

コロナ禍でデジタル化が進むなか、連合会を構成する各自治会からもデジタル機器の整備や、デジタルを活用可能な人材育成について指摘する声が上がっていた。一方、自治会役員には高齢者が多く、デジタル機器やミーティングアプリの扱いに不慣れな人が少なくなかった。

そうしたなか、今回の事業では、各会館にデジタル機器を配置し、自治会員が実際に機器を利用して事業に参画することで、ミーティングアプリなどを使える人材も増え、デジタル活用を具体化することができた。地区連合会と5つの自治会館でデジタル環境が同時に整ったことで、今後、連合会として他の行事などに活用し、若い人の参加促進にもつなげていきたいと考えている。

事業を振り返って

苦手意識を持たずに、まず体験して欲しい

大田区久が原特別出張所地域力推進係の担当の職員2人は、連合会の事務局として各自治会を回って機器や通信環境の設定を手伝った。各自治会からは「デジタル化の良いきっかけになった」「やってみて良かった」「勉強したい」などの声が寄せられている。職員の2人は「地域の方がデジタル機器に苦手意識を持たず、デジタル環境を体験して活用できるようサポートしていきたい」と話す。



大田区久が原地区自治会連合会の活動を支援している久が原特別出張所地域力推進係の坂本さん(右)と森本さん。